



**WDIAI**

Women Dental Academy for Implantology

「集い、学び、女性臨床家たちをつなぐ」

# WDIAI 第 7 回定例会

抄録/講演プログラム

◎日時:2019年7月7日(日) 10:00~16:30

◎会場:ストロマン・ジャパン東京本社

プログラム:午前

時間(ラップ)	演題・演者(敬称略)・演題要旨
10:00-10:10	● オープニング WDAI会長 柳井智恵
10:10-10:30 (20)	● 歯科技工のデジタル ワークフロー時代に向けた IT基盤づくり <b>会員発表</b>  加藤 糸保 協和デンタルラボコトリー (歯科技工士)
10:30-10:50 (20)	● 長期にメンテナンスを続ける ことで学んできたこと <b>会員発表</b>  内山 佐知子 印中歯科健造 (歯科衛生士)
10:50-11:10 (20)	● デジタル技工と歯周補綴 <b>会員発表</b>  若竹 直美 デジタルラボDIGITAL (歯科技工士)
11:10-11:25	● 休憩
11:25-11:45 (20)	● ビンチをチャンスに！ ～ゼロからのインプラント 治療導入～ <b>会員発表</b>  山本 瑠穂 高沢ガーデン歯科クリニック (歯科医師)
11:45-12:15 (30)	● 伊東歯科口腔病院の紹介と インプラント治療 <b>会員発表</b>  古武 博英 伊東歯科口腔病院 (歯科医師)

プログラム:午後

時間(ラップ)	演題・演者(敬称略)・演題要旨
12:15-12:30	● 昼食 ※お弁当(無料)を用意しています。
12:30-13:00	● 総会
13:00-13:15	● 休憩
13:15-14:45 (90)	● 歯周治療に学ぶ インプラント治療の 良好な予後 <b>特別講演</b>  岡本 浩 人形町歯科 (歯科医師)
14:45-15:00	● 休憩
15:00-16:00 (60)	● スタートアップ！ デジタルデンティストリー How to introduce the digital dentistry!! <b>教育講演</b>  渥美 美穂子 MAデンタルクリニック (歯科医師)
16:00-16:15	● WDAI活動紹介/次回定例会のご案内 小林 真理子 (WDAI 理事)、青柳 恵子 (WDAI 理事)
16:15-16:30	● 閉会の挨拶 山口 結美 (WDAI 理事)
16:45-18:45	● 懇親会

※プログラムは変更になる場合もございます。予めご了承ください。

Sponsored by

# WDAI 会長ご挨拶

WDAI 会長



柳井 智恵

Yanai Chie

歯科医師

日本歯科大学(東京都)

女性歯科インプラントアカデミー(WDAI)は設立して四年目に入り、会員の皆様および関係者各位の多大なご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、今年の5月に東京で開催されましたStraumann FORUM 2019にて、WDAI 会員より8名のモデレーター、スピーカーの女性歯科医師、歯科衛生士が登壇いたしました。僣越ながら、私もWDAI 事業としてランチョンセミナーの講師を務めさせていただきました。WDAI 会員より8名のメンバーが登壇できたことは、皆様のこれまでの活動の成果であると確信しております。

また、2000名に及ぶ参加者の中に、多くの女性歯科医師、歯科衛生士、女性技工士、各医院のスタッフをお見かけするにあたり、今後の励みにもなりました。

今回のWDAI 定例会は、特別講演に日本の歯周病治療のレジェンドであります岡本浩先生をお招きしております。教育講演には、WDAI 副会長・渥美美穂子先生より、デジタルデンティストリーの取り組み方について講演いただきます。会員発表となります5名の先生を加えまして、第7回WDAI 定例会実行委員長の山口絵美先生の素晴らしいコーディネイトにより、皆様の日々の臨床に役立つ情報を提供できることと思います。

第7回WDAI 定例会が、この7月7日七夕の日で開催されるのも、何かの導きなのでしょう。本会が皆様との懸け橋となりますよう、お会いできますことを楽しみにしております。

最後に私ことで大変恐縮ですが、今回の定例会・総会にて会長を満期退任することになります。思えば、WDAI 設立のファーストミーティング以来、インプラントを主軸とする包括的臨床を志す女性歯科臨床家の研修支援や臨床家としての活躍を支援してまいりました。会員の皆様および関係各位に賜りました格別なご支援・ご厚情に心より御礼申し上げます。今後につきましては誠に微力ではありますが、WDAI の一層の発展に協力していきたい所存でございます。何卒、引き続き変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康と益々ご活躍を祈念申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。

WDAI 第7回定例会  
2019年7月7日(日)東京

## 実行委員長ご挨拶

「成功に導くポイント」

インプラント治療が日常的になって久しい今日、その生存率は 95% 前後とも言われるようになった。また、オッセオインテグレイテッドインプラントの登場から 50 年が経ち、その生存率とは裏腹にインプラント周囲疾患の問題も惹起されるようになった。ところが、近年そのエビデンスは蓄積されてきてはいるものの、インプラント周囲疾患にはまだ不明な点も多く、いまだエビデンスが確立されているとは言えないのが現状である。

歯を喪失する原因の多くは、プラーク由来の疾患（齲蝕、歯周病）である。インプラント周囲疾患も同じプラークに起因する疾患であることから、インプラント周囲疾患を予防するには、患者の口腔環境に対するモチベーションの向上が不可欠である。歯を喪失した患者の心理的負担や、治療にかかる身体的、経済的、時間的負担は大きい。インプラント治療を決断する時こそ、患者の行動変容のチャンスである。

インプラント周囲疾患のリスクファクターには、歯周病の既往をはじめ、喫煙、管理されていない糖尿病、口腔衛生、局所因子（粘膜下の残存したセメント、表面性状）などが考えられてきたが、特に口腔衛生の不良と歯周病はインプラント周囲病変のリスクファクターの大きな注意事項として挙げたい。

そこで今回の第 7 回 WDAI 定例会では、ただインプラントを入れれば良いのではなく、長期的に機能させることを目標とし、その為に必要となる知識を持つスペシャリストの方々にご教授していただきたくこのテーマとさせていただきます。歯周病のスペシャリストである岡本浩先生を特別講演として迎え「歯周治療に学ぶインプラント治療の良好な予後」を題材としてご講演していただくこととなっております。さらに、教育講演では WDAI 副会長の渥美美穂子先生に「スタートアップ！デジタルデンティストリー」を題材にご講演していただきます。会員発表では 5 名の歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士より、日頃の臨床、研究を元に、それぞれのテーマで発表いただきます。

質の高い医療の提供は、長年の臨床と研究による科学的エビデンスに基づいて実行されるものと思います。医療技術の進歩に立ち遅れないよう、我々も日々の研鑽を積むことが大切です。それに加えて、患者の治療へのモチベーションを高めていくことも我々の責務かと思えます。それらを再確認していただくための機会として、「成功に導くポイント」が皆様の日々の臨床にお役立ていただければ幸いです。

WDAI の理念である「集い、学び、女性臨床家たちをつなぐ」を実践すべく、第 7 回 WDAI 定例会が実りある会となりますよう微力ながら尽力してまいります。ご参加の皆様のご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。



山口 絵美

Yamaguchi Emi

歯科医師

東京国際クリニック・歯科（東京都）

# 歯科技工のデジタルワークフロー時代に向けた IT 基盤作り

- ・デジタルツールの活用
- ・自社オリジナルソフト開発
- ・働く人をサポートする IT ネットワーク

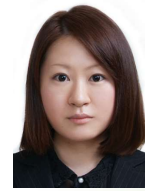
現在第四次産業革命の真っ只中で、どの国も IoT(Internet of Things)を進め、ビックデータを集め、AI につなげていくことを行なっている。弊社でも届いたデータや模型に IoT を利用し、今後多くの歯科医院や技工所ともつながることを考えている。口腔内スキャナーの普及により技工のデジタル化が進み、デジタルツールの活用は欠かせないものとなってきている。

弊社社員数の増加に伴い、沖縄を含め現在3つの拠点で連携して仕事を行なっている。そのため、離れた場所にいる社員とのコミュニケーションも容易にとれるよう Skype でお互いの顔を見ながら会話をし、距離に関係なく仕事をする事が可能となった。チームビューアを使用し遠隔操作を行うことで、CAD ソフトの共有ができるようになり、離れた拠点同士の CAD ソフトをシェアしながら仕事を行っている。Skype やチームビューアは社内だけでなく、歯科医院とのやり取りの中でも使用している。弊社沖縄営業所は、サージカルガイドのサポートサービスがメインの仕事となっている。

CT データと口腔内スキャンデータをマッチングさせ、アーチファクトの除去などのプランニングの前準備を行い、チームビューアの遠隔操作で歯科医院と画面を共有し歯科医師に埋入ポジションの決定をしていただく。サージカルガイドのサポートサービスは、デジタルツールによって生まれた新たな仕事となっている。

こうした働き方の多様化などの時代の変化に対応するためにも、デジタルツールの活用やデジタル化についての理解を深める活動を行なっている。IT プロジェクトチームを 2010 年に発足し、IT コーディネーターや技術データ管理支援協会などの専門家による指導を受け、補助金制度を利用し 2013 年に自社のオリジナルソフトを開発した。

IT とは、デジタルツールを利用し情報を「見える化」する事や、情報を正しく記録しデータとして残す事で、働く人のサポートとなる。その結果、品質の向上・サービスの向上につながるのだと実感している。



加藤 糸保

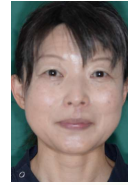
Kato Shiho

歯科技工士

有限会社協和デンタル・ラボラトリー  
(千葉県)

## 【経歴】

- 2007 年:協和デンタルラボラトリー入社
- 2018 年:歯科衛生士専門学校入学



内山 佐知子  
Uchiyama Sachiko

歯科衛生士  
医療法人社団道永会  
田中歯科鎌倉(神奈川県)

# 長期にメンテナンスを続けることで学んできたこと

・口腔内という臓器を通し、患者さんの人生に関わることで得られた沢山の感謝

## I 目的

治療終了後も長期に渡って良好な状態を維持するためには、患者さんのプラークコントロールは欠かせない。

今回 1991 年から私がメンテナンスを担当し、28 年間良好な状態を維持している患者さんを通して、「患者自身が長期に渡り、いかにモチベーションを落とさずにブラッシングを続け、自己管理をしていくことができるか」にターゲットを当てて、私の日常行っている診療内容を紹介したい。

## II 患者概要

1988 年初診(56 歳、女性) 由比ヶ浜歯科医院

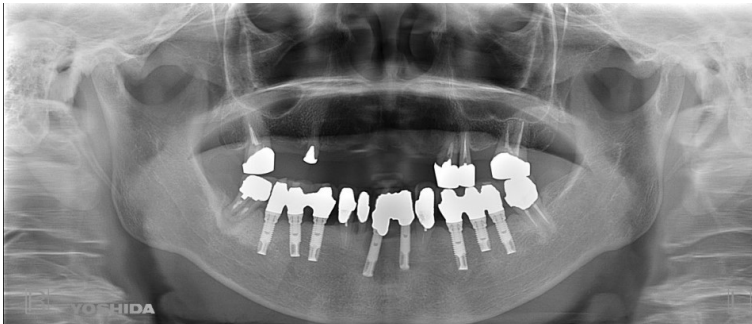
1989 年 上顎 5 本支台のコーヌスクローネデンチャー  
下顎 7432|347 フルブリッジ

1991 年 前担当の衛生士からメンテナンス引き継ぐ

2008 年 4|4 歯根破折により抜歯

下顎 654|456 1|1  
implant 埋入 いずれも連結冠

残存歯 7 3 2 3 7 単冠



(次頁に続く)

## 【経歴】

- 1989 年;日本女子衛生短期大学卒
- 1989 年;小野歯科医院勤務
- 1991 年;(医)由比ヶ浜歯科医院勤務
- 1991-1996 年:イエテボリ大学サマーセミナー受講
- 2011 年:;(医)道永会 田中歯科鎌倉勤務

### Ⅲ 経過

現在この患者さんは 87 歳になられた。

1991 年，由比ヶ浜歯科医院で前任の衛生士よりメンテナンスを引きつぎ，2011 年田中歯科鎌倉に勤務するようになって患者さんも田中歯科鎌倉に移って来られた。28 年経過したが良好な状態を保っている。今でもご自身でされているブラッシングの状態を気にかけて 3 ヶ月に一度のメンテナンスに通院されている。

### Ⅳ 考察及び結論

この 28 年の間，「歯の周りに付着する汚れは何なのか，なぜ磨くことがこんなにも大切なのか」をお伝えし，患者に磨き残しのないブラッシングの仕方を忍耐強くお教えしてきた。

そして患者さんはいつしか，「ご自分が磨き残しのないブラッシングをすることによって，歯周病は改善し進行しない」と体感するようになった。

すなわち，この体感することが最大の磨き続けられるモチベーションであり，それを支えることが私の役目であると思っている。

患者に自己管理意識を植え付けることが，良好な治療予後に通じると確信している。

良好な予後は，患者と私の信頼関係を築き，私に達成感を与えてくれる。患者さんからたくさんの感謝をいただいている。

# デジタル技工と歯周補綴

- ・デジタル技工
- ・口腔内スキャナーと CAD/CAM の連携
- ・歯周補綴を考慮した製作のポイント

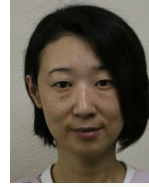
当ラボでは 2005 年より CAD/CAM を導入。

当時はジルコニアの製作のための導入であった。近年、歯科医院の IOS 普及にともないラボサイドでの CAD/CAM 導入理由が大きく変化した。

CAD/CAM がなければお仕事が受けられない時代になってきたのだ。しかしながら、デジタル技工でも従来の手仕事技工でも、良好な適合・歯周組織を考慮した形態の補綴物製作という条件は同じである。

今回は、当ラボが歯周補綴を製作するうえでどのように注意しているかをお伝え出来ればと思います。

## 会員発表



若竹 直美

Wakatake Naomi

歯科技工士

デンタルラボ GROW(東京都)

## 【経歴】

- デンタルラボ GROW 勤務
- 2019 年：大阪セラミックレーニングセンター宮崎校 週末コース卒業



# ピンチをチャンスに！ ～ゼロからのインプラント治療導入～

- ・インプラント治療
- ・チーム医療
- ・メンターとの出会い、仲間との出会い

近年、インプラント治療は欠損補綴のひとつの選択肢として広く普及し、私自身はインプラント治療の予知性の高さに魅力を感じている。

現クリニックに勤務して長くなるが、日常臨床において、ブリッジが崩壊してしまった患者に遭遇してはとても残念な気持ちになり、欠損が拡大した結果、義歯へ移行していく患者を診て、さらに残念な思いになることも度々である。もしも私が義歯作製の達人であれば、満足に咬めて、おしゃべりも不自由のない使い心地の良い義歯を提示できるかもしれないが、正直、私は義歯の達人とは程遠い。

“でも、うちのクリニックはインプラントはやっていない。ブリッジがダメなら義歯で頑張ってもらうしかない。仕方ない。でも、果たしてそれでいいのかしら？”

そのような中で、ある日突然、クリニックにインプラントメーカーの大きな箱が何箱か届いた。勤務医は誰ひとりとして経緯を知らず、“インプラント治療専門のドクターが新しく入職するのだろう。”という認識であった。

それから数日後の2017年4月、人生の転機ともなる院長からの一言が下る。「先生、うちもインプラント治療をやることにしました。道具は一式買いました。先生、口腔外科出身だからインプラントを勉強していつくれるかな？頑張ってくださいね！」

その衝撃のトップダウンを機に、私のインプラント治療への道が始まった。

インプラント経験のある歯科医師は誰もいない、あるのはインプラントキット一式のみというクリニックでインプラント治療を新規導入するにあたり、どのように行動したのか、「それは先生チャンスだ！」と明るく背中を押して下さった WDAI のメンターの存在、沢山の先生方との出会い、仕事と子育てどちらに比重を置くべきなのか、いわゆるライフワークバランスの葛藤も含めた私の未熟な経験を発表させて頂ければ幸いである。

## 会員発表



**山本 瑞穂**  
Yamamoto Mizuho

歯科医師  
医療法人社団晃成会  
高宮ガーデン歯科クリニック  
(千葉県)

### 【経歴】

- 2011年：北海道大学歯学部卒業
- 2011年：琉球大学医学部附属病院歯科口腔外科研修医
- 2012年：琉球大学医学部顎顔面機能再建学講座医員
- 2014年：医療法人社団晃成会 高宮ガーデン歯科クリニック 勤務
- 2019年：医療法人社団晃成会 高宮ガーデン歯科クリニック 院長代理

### 【所属学会、団体、資格等】

- 日本口腔インプラント学会
- 日本外傷歯学会認定医
- 日本インプラント臨床研究会
- デンタルコンセプト21

# 伊東歯科口腔病院の紹介とインプラント治療

- ・歯科病医院としての機能
- ・当院のインプラント治療を支えるチーム力

## ① 歯科口腔病院までの経緯

当院は1939年に“伊東歯科口腔科醫院”としてスタートし、1975年に口腔外科を開設するとともに10床の有床施設“伊東歯科医院”となった。地域のニーズに従って口腔外科手術をはじめ、障害者・有病者の歯科医療、矯正診療、訪問診療、インプラント診療等を行い、地域の2次医療機関としての機能を果たしてきた。2009年に初代開設者の“病院化”の夢を実現し、現在、“伊東歯科口腔病院”として、日本で初めての“歯科専門の病院”となり、10年が経過している。伊東歯科口腔科醫院、伊東歯科医院、伊東歯科口腔病院と、80年かけて3つの時代を経てきた。

## ② 当院の特徴

当院の大きな特徴は、多職種と連携をとりながら歯科医療を行っているところである。当院には、歯科医師・医師・歯科衛生士・歯科技工士・看護師・放射線技師・薬剤師・給食・事務職員・消毒滅菌の専門のスタッフがおり、それぞれの専門の知識や技術を活かし、歯科医療を行っている。

最近のインプラント診療においては、デジタルソリューションに力を入れており、術前シミュレーションを行い、ガイドドサージェリーを取り入れている。ガイドドサージェリーを行うことで、より安心・安全・正確にインプラント埋入術ができるようになり、高い患者満足度を得られている。

### 症例 1:

21歳男性の左上2番の欠損に対しブロック骨移植を行った後に、ガイドドサージェリーでインプラントを植立した症例を提示する。

### 症例 2:

交通外傷後にインプラントを用いて咬合再建を行った長期経過症例について報告する。患者は当時24歳女性。通勤中の交通事故で済生会病院に搬送された。顔面多発骨折を認めたため、全身麻酔下で同病院手術室に出張し観血的整復固定術を行った。その後、当院手術室で口腔内の骨欠損に対して腸骨からのブロック骨移植を行い、最終的に咬合再建のためにインプラント手術ならびに遊離歯肉移植術による口腔前庭拡張術を行った。3段階にわたる手術を施行し、18年良好に経過している症例についても提示する。

## 会員発表



吉武 博美

Yoshitake Hiromi

## 歯科医師

医療法人社団伊東会

伊東歯科口腔病院(熊本県)

## 【経歴】

- 熊本市民病院・伊東歯科医院厚生労働省臨床研修
- 熊本大学医学部附属病院 歯科口腔外科
- (医)伊東会伊東歯科口腔病院
- ドイツフライブルク大学顎顔面外科

## 【所属学会、団体、資格等】

- 日本口腔インプラント学会 専門医
- 日本歯科麻酔学会 専門医・認定医
- 日本障害者歯科学会 認定医
- 日本有病者歯科医療学会 指導医

WDAI 第7回定例会

2019年7月7日(日)東京

# 歯周治療に学ぶインプラント治療の良好な予後

- ・歯周組織とインプラント周囲組織の相異
- ・歯周治療・インプラント治療後のメンテナンス
- ・歯周治療・インプラント治療の長期予後

歯周治療は歯の周囲の歯肉炎・歯周炎に対する治療であるが、インプラント治療は何らかの理由で歯が喪失した無歯顎領域に人工歯根を植立させ咬合機能を与える一連の術式をいう。

ここで、歯周組織とインプラント周囲粘膜の差異を理解し、サポート治療(メンテナンス)において、患者に十分な情報を伝え理解して頂かなければならない。

良好な症例、不良な症例を示し、これからのインプラント治療の参考にさせていただくことが、この講演の目的である。

## 特別講演



岡本 浩

Okamoto Hiroshi

歯科医師  
人形町歯科(東京都)

### 【経歴】

- 1968年:日本歯科大学卒業
- 1968-1972年:アメリカ空軍病院勤務
- 1972-1973年:ロンドン大学イーストマン病院歯周病科卒後研修
- 1973-1977年:スウェーデン・イエテボリ大学歯周病科勤務
- 1977-1991年:日本歯科大学講師・助教授
- 1991-2009年:奥羽大学教授

### 【所属学会、団体、資格等】

- 歯学博士
- 日本歯周病学会 専門医
- 日本歯科保存学会 専門医・指導医
- AFD 専任顧問

WDAI 第7回定例会  
2019年7月7日(日)東京

# スタートアップ！ デジタルデン ティストリー

## How to introduce the digital dentistry!!

- デジタルワークフロー
- CT/IOS/CAM の連携
- ジルコニアマテリアル

AI, IoT といったデジタルの波は確実に歯科にもおよんでいる。人々にとって PC や携帯電話, スマートホンが必須アイテムになったように, デジタル・デンティストリーは近い将来われわれの臨床で大きな役割を担うことになるだろう。私たちもそれを実感しつつ情報を得ているところである。一部では早くにデジタル化を推進してこれまでの歯科治療のプロセスを概ねデジタルで代替可能であるとする報告も増えてきた。いわゆる, デジタルのワークフローである。

そのプロセスの中で, とくに, インプラント治療に関しては早くから, より安全なインプラント手術の遂行を目指して CBCT を利用してデジタルの有用性を実感してきた。今日では CBCT の DICOM データを用いたシミュレーションや精密ガイドなどはインプラント治療のルーティンワークともいえる。さらに, 口腔内スキャナーの開発, CAD による設計, そしてメタルフリーの普及が後押しする CAM による補綴装置製作の優位性などの相乗効果によって, 皆が言うところのデジタルワークフローが本当の意味で流れだし始めたところであると思っている。

様々な耳新しい用語や不慣れなパソコン操作への不安などにより, デジタルの導入を躊躇している方々も多いだろう。今回私の講演では, ”デジタル・ワークフロー” が実際にどうやって流れるのか? また, 具体的に何を導入すればできるのか? などをわかりやすく説明できればと思う。また, それらを勧める一つの要因にもなっている, 審美補綴材料についても話してみたい。基本的な事項を抑えていただいて明日からの臨床のヒントになってもらえればと思っている。

### 教育講演



渥美 美穂子

Atsumi Mihoko

### 歯科医師

医療法人社団堯舜会

MA デンタルクリニック(神奈川県)

### 【経歴】

- 1989 年: 神奈川県立歯科大学 卒業
- 1993 年: 神奈川県立歯科大学 博士課程修了
- 2004-2006 年: 米国ミシガン大学客員研究員
- 1993-2014 年: 神奈川県立歯科大学補綴学講座・インプラント科歴任
- 2014 年-: 医療法人社団堯舜会 MA デンタルクリニック 院長

### 【所属学会、団体、資格等】

- 日本口腔インプラント学会 専門医
- 日本補綴歯科学会 指導医・専門医
- American Academy of Periodontology Member
- 日本歯周病学会会員
- WDAI 副会長

WDAI 第 7 回定例会  
2019 年 7 月 7 日(日)東京



## 【懇親会のご案内】

日時:2019年7月7日(日) 16:45-18:45

会場:アリスアクアガーデン田町 (田町センタービルピアタ **3階**)

※JR 田町駅、地下鉄三田駅に隣接のビル3階です。

※ビル内のエスカレーター、または駅2階デッキからでもお越しになれます。

※店舗電話番号 03-5427-5535

当日参加も受付けております。13:15までにスタッフまでお知らせ下さい。



**アリスアクアガーデン田町**  
(田町センタービル ピアタ 3階)

# WDAI 女性歯科インプラントアカデミー LINE@アカウント 情報配信開始！

下記 QR コードでお友だち登録いただきますと、WDAI からのイベント情報などが届きます。

注記) LINE のお友だち登録と、WDAI 会員登録は異なります。ご入会希望の方は、WDAI 事務局までお問合せください。

WDAI オフィシャルサイト [www.wdai.jp](http://www.wdai.jp) / eMail : [info@wdai.jp](mailto:info@wdai.jp) / tel 03-3527-3890



WDAI 女性歯科インプラントアカデミー

# LINE@

×

@zmp2999w

うれしい情報をLINEでお届け!



LINEの友だち追加から  
ID検索またはQRコードで登録してね♪

© LINE

